

2014年度兵庫県クラブユースサッカー連盟技術講習会

主催： 兵庫県クラブユースサッカー連盟

後援： 関西クラブユースサッカー連盟

ところ： いぶきの森（講義：クラブハウス、実技：人工芝）

期日： 2015年3月21日（土）17：30～20：30

参加者： 53名

講師： 松田 浩氏（JFAナショナルトレセンコーチ関西担当、JFA公認S級・A級コーチ・チーフインストラクター）

【プロフィール】

■ 生年月日：1960年9月2日

■ 出身地：長崎県長崎市

■ 選手歴

1976～78長崎北高

1979～83筑波大（日本学生選抜）

1984～92東洋工業／マツダ（ユニバーシアード代表）

1992～94サンフレッチェ広島

1995～96ヴィッセル神戸

■ 指導歴

1992～96サンフレッチェ広島コーチ

1997ヴィッセル神戸サテライトチームコーチ

1998～2002ヴィッセル神戸トップチームコーチ

2002.8～ヴィッセル神戸監督

2003～2006.5アビスパ福岡監督

2006.8～2006.9ヴィッセル神戸トップチームコーチ

2006.9～2008ヴィッセル神戸監督

2009～13栃木SC監督

2014～JFAナショナルトレセンコーチ

内容：進行 加島 進一（兵庫県クラブユースサッカー連盟技術担当）

17：30～17：40 会長 新開氏 挨拶

17：40～19：00 松田氏講義

19：10～20：30 松田氏指導実践（対象：センアーノ神戸ユース選手）

テーマ「ボールを奪う事とを目的としたゾーンディフェンス」

20：35～20：45 実技質疑応答

講習会テーマ：「ボールを奪う事を目的としたゾーンディフェンス」

【講義】

なぜ、ゾーンディフェンスか？

- ・相手のシステム・陣形・ポジションに影響されないという効率の良さ
- ・良いゾーンディフェンスの隊形が取れている時は、ボールホルダーに対して、11人を敵にしていると感じさせる事が出来る。
- ・単なるマークの受け渡しではない！受け渡したとしても、結局は相手によってポジションを決められる。
- ・マンツーマンは、相手の位置で自分のポジションが決まる。

ボールを中心としたゾーンディフェンスとは？

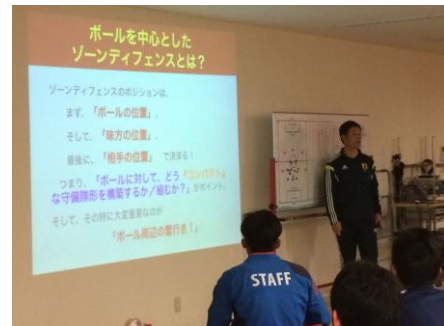
ゾーンディフェンスのポジションは、

- まず、『ボールの位置』、
- そして、『味方の位置』、
- 最後に、『相手の位置』で決まる。

つまり、『ボールに対して、どう＜コンパクト＞な守備隊形を構築するか／組むか』がポイント。

そして、その時に大変重要なのが

『ボール周辺の雲行き!』



3ライン（2FW－4MF－4DF）の任務と役割

各ライン共通

- 相手選手にドリブルでの突破を許さない
- 浮球でラインを越された時はプレスバック

第1線（FW）

- 相手ボランチへのパスコースをカット→プレスバック（ペナルティエリアの幅でパスコースを限定）
- キープレイヤー（ボランチ／CB）のビルドアップ時のチェック
- 4－4－1－1によるボランチへのチェック

第2線（MF）

W-MFはプレスのstarting zoneに入ったらプレッシングを開始し守備のスイッチを入れる
門を（中を）閉じる／横ずれ

第2線と第3線の中の2～5人の選手にパスが通らないようなポジショニング→プレスバック、強く

W-MFは相手WB or SBのパスコースを限定（SBの連動 or 声による指示）

ポジションチェンジ／モビリティに対してはコンパクト＋コミュニケーション、第2線のポジショニングで対応

第3線（DF）

浮球で通してきたらチェック

第2線の選手とのサンドイッチで対応

情報の発信基地（声による指示）

そもそもなぜ4－4－2か



ボールを中心としたゾーンDFには最適（穴が無くバランスがいい）
お互いの距離感に優れ、コレクティブなサッカーが実現しやすい
ローテーションなど効率の良いサッカーが可能

3BKでは68mの幅をカバーできず、3BKのチームは守備時に必ず5BKとなる。（基本的に3BKのチームはマンツーマンDFが多く、3or1トップのチームを相手にすると途端に4BKに変更することが多い、もしくは1トップに対し3BKで対応するなど効率が悪い／リアクションサッカー）
最終的に、4BKの相手のSBをフリーにしてしまう事となる。

4-4-2の凸字の形が守備の櫓を組むには最適で、ブロックが形成しやすい。
攻撃陣の面子から攻撃時は4-2-3-1にする場合でも、オーガナイズDF時には4-4-2で配置する方が、敵の2CBに2vs1を作られない事や、CBからダブルボランチへのパスをスクリーンし、プレスのスターティングポイントにパス方向を限定させる上でも安定する。

【実技】

Tr. 1

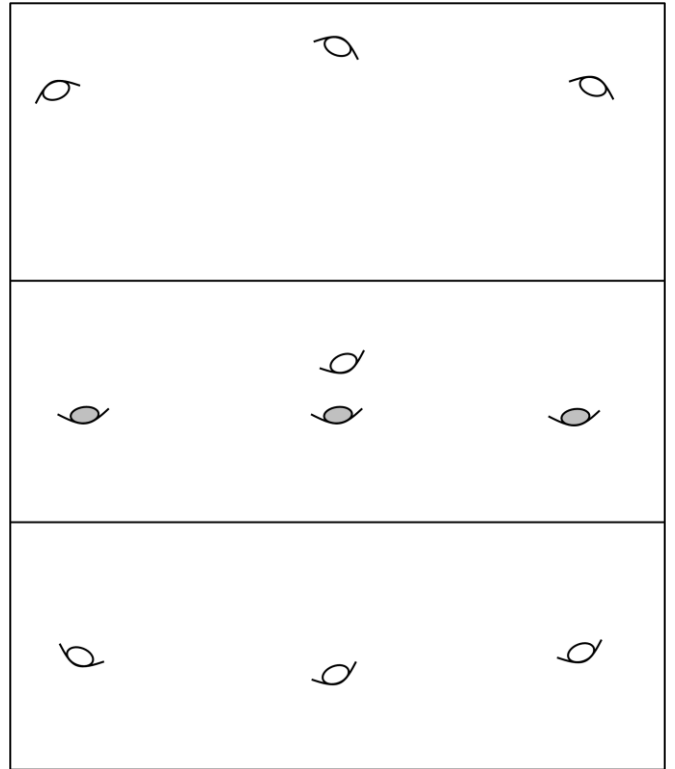
OF, DFはゾーン間の移動なし

OP : DFはゾーンを出て守備OK

奪うチャンスを逃さない

通されたら反転（スピン）して次に備える

横ずれを早く

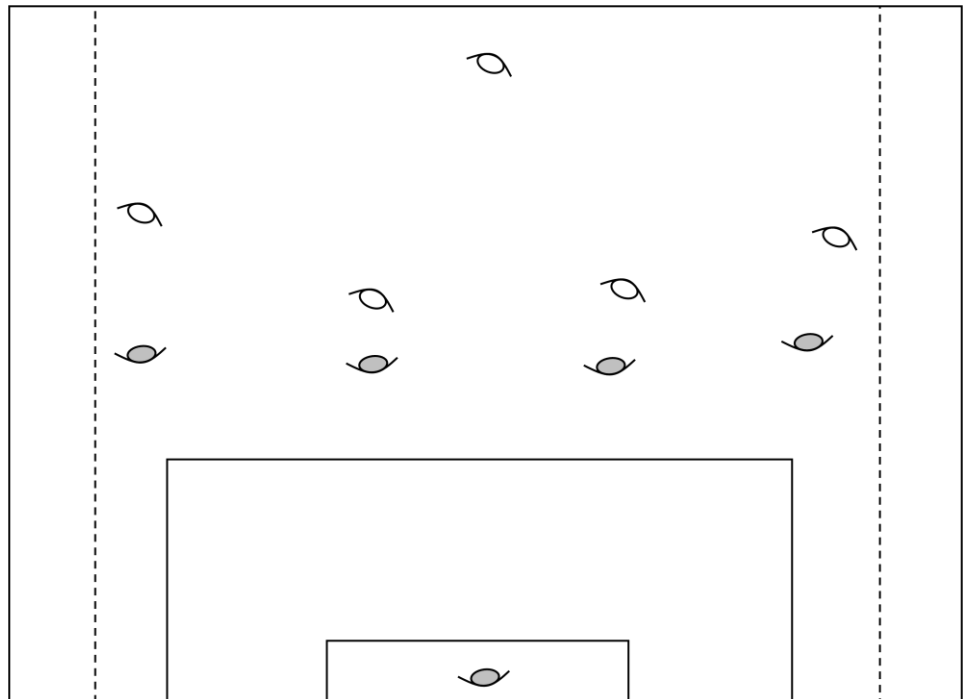


Tr. 2

ボールの位置（雲行き）

→味方との連動

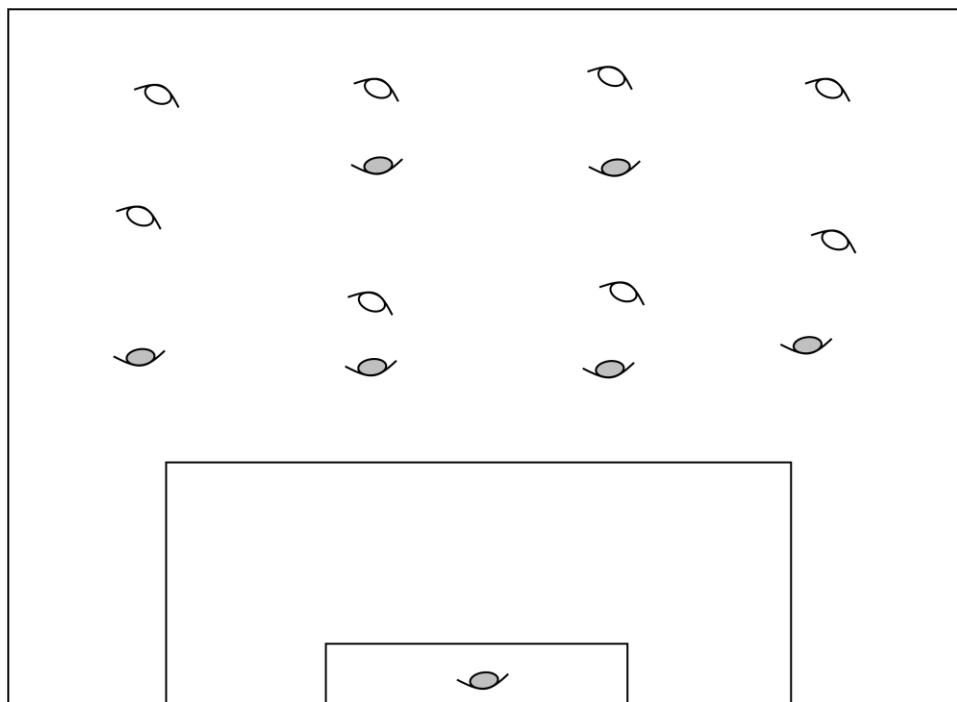
味方の位置



Tr. 3

DFラインがヘディングでクリアしてスタート

浮球やクリア（攻撃の手が休めば）
→ラインを少しでも上げる
ポジション修正



今回は4対6→6対8としたが、8対10として行けば、相手の攻撃を8名でも守りきれることが体感できる。マンツーマンDFでは厳しいがゾーンであれば可能になる。

